



http://www
.ab.cyberhome
.ne.jp/~nakanohp/

日本共産党市議会議員 中野あきと・事務所ニュース

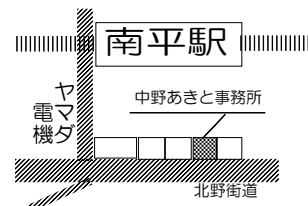
みどりと清流

中野あきと事務所 第99号
〒191-0041 日野市南平7-6-72
TEL・FAX 042-599-3350 2010年
発行責任者 小林 進 5月発行

しん 赤旗
ぶん

日刊紙1ヶ月 2900円
日曜版1ヶ月 800円
お申し込み 党南多摩事務所
TEL 042-374-4384
または中野事務所へ

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



3月議会本会議質問

就学援助・生活保護行政の改善を

現役世代の失職などによつて日野市でも生活保護世帯が急増し、さまざまな影響が広がっています。所得の低下により就学援助を必要とする世帯が、中学校においては20%を超える事態となりました。私は、

①いわゆる格差の問題は、格差それ自体の問題というより貧困が広まっていることの問題であること。

②貧困問題は「自己責任」ではなく、労働市場の変貌など社会構造にその大きな要因があることを指摘。

就学援助や生活保護について運用の改善をはかり、生活が苦しくなっている世帯への支援を行うことを求めました。

生活相談を受けて感じたことですが、医療機関への通院交通費支給を知らない人がいます。制度周知を図るよう運用改善を求めた質問には「明確な形で情報提供できる体制づくりに努めたい」と担当部長は答弁しました。

また、生活保護費の支給で決められた日に市役所に行き、行列に並ばないと受け取れないケースがあります。極力銀行振り込みでと求めた質問に「見直しの方向で考えたい」

と担当部長は答弁しました。市長は「基本的にはおおむねおっしゃる方向」「最低限の生活ができないような状況になったときには、自治体行政が温かく手を差し伸べる。それが行政の一番の基本であり、しっかりと対応していきたい」と答弁しました。

また、予算委員会では、①クアガーデン 温泉施設を市民が利用できる手だてを裏面参照

②生保センター温水プールの早期再開を

③小学校リソースルームの増設にみあった予算の確保を（学習に困っている児童に対し支援を行い、自信や自立につなげる場所）

④ふれあいホール問題等について質しました。

中野あきと



メーデーの行進を激励する
日本共産党日野市議団

馬場市長の

気になる「公民協働」論

馬場市長は、市政運営の基本姿勢を「公民協働——まちの将来を見据えて」（4月1日広報）としました。

馬場市長の使っている「公民協働」は、「公」と「民」の「協働（パートナーシップ）」と言う意味ではなく、「公民」による「協働（コラボレーション）」だと説明しました。そして「公民」とは、「大衆」とか「市民」よりは、もっと自覚の高い存在、「しっかりと権利を行使するとともに義務も果たす」存在だと言うのです。

なぜ、「市民」と「公民」を分けて考えるのでしょうか。「最近の市民は、自分の権利ばかり主張し、義務を忘れ、公のために働くことを忘れてる」という「上から目線」を感じざるをえません。

市民が、自分の権利や利益のために行動するのは当然のことです。そのことと、一人ひとりの市民が、社会を支えるかけがえのない存在であることは矛盾しません。行政は、主権者である市民への信頼が前提となつて成立しているのです。

「公民協働」というなら、市民に対して情報公開や決定への参加を保障し、市民と行政との対等の関係を確立すべきではないでしょうか。

短信

鮎釣りの解禁は5月中旬から順次始まる。鮎釣りを趣味とするものはワクワクしてくるものだ▼去年の仕掛けを使うのはもつての他である。古いものを使つて取り逃がすと、悔やむばかりか、鮎仲間から、咎めの視線がくる。仕掛け作りは捨てることから始めるのが鉄則だ▼仕掛けというと、伝統的なものと思う方もいるかもしれないが、糸はハイテクである。細いものは直径が0.05ミリを下回る。値段も張るので、竿の先に1000円札をぶら下げて釣っている様ものである▼「鮎は日本、韓国など極東地域に分布しているが、大陸は石が少なく、あまり適せず、日本が本場である。『大東亜戦争』の頃、鮎の住むところはすべて日本の勢力圏たるべしと八紘一宇精神を言いふらした人達がいた」テュの話、宮地伝三郎著という。戦争に負けたのは鮎の勢力圏を出たからだと落ち込んでいる。鮎には迷惑な話だ▼むやみなダム建設に、心をいためる釣り人は多い。ダムの上流と下流では水の色が変わり、川の生気が失われる。楽しただけでなく、環境や平和にも大いに声を上げていきたいものだ。（H）

平山6丁目生コン工場問題を テレビ局が取材（TBS・噂の東京マガジン）



道幅いっぱいに走行するダンプカー

幅員が4メートルに満たない道路を往来する大型運搬車やミキサー車。振動、騒音、粉塵、通行の危険。平山6丁目の生コン工場周辺の人たちは、約20年にわたりこんな環境破壊に悩まされ続けてきましたが、この状況をTBSテレビが取材し放映されることになりました。

この工場は、平成2年に施設を新設。生コン製造の作業が行われるようになりましたが、その施設が建築基準法に違反しているとのことですが、しかし、当時、建築行政を担っていた東京都や、その後を担うことになった日野市からは違反建築物に対する明確な対応もなく現在に至っています。

4月26日の現地取材では、リポーターの清水國明さんに「本当に危険」「窓を閉めないと電話も聞こえない」「粉塵がひどく家の中にも入るし洗濯物も干せない」など、集まった人たちがこもこも訴えていました。

また、取材は、中野事務所でも行われ、日野市や市議会の対応など清水さんの質問に中野あきと市議が答えました。

《ミニ・ニュース》

■京王線南平駅バリアフリー化の説明会

4月27日、京王の説明会が七生中で行われました。

【京王の説明】

◆2011年3月までにはエレベーター使用を可能にし、同年9月までに全体の工事が完了。◆本来は、南・北口ともエレベーターが必要であるが、北口側は建築基準法上の制約があり、駅前道路から橋上改札口までのエレベーターは南口側に一基とならざるを得ない。

◆トイレも橋上駅舎にスペースが確保できず、下りホームに設置せざるを得ない。

参加者からは、北口を利用している高齢者・障害者などは、踏切を渡り南口を利用することになる。安全を確保するために、せめて踏み切りの幅員を広げるなどの対策をとるべきだ、などの声が出されました。

■閉鎖したクアガーデンの利用を

「閉鎖した温泉施設クアガーデンを、市民のために利用できないか」と、3月議会で中野あきと議員が質問しました。クアガーデンとは多摩テック内にあった施設で閉鎖され、営業は打ち切られています。

「いまある施設を有効に使う」という観点からも、あらためて市民が利用できるように日野市としても協議・検討すべきだと提案しました。

市は「多摩テック跡地も含めた土地利用について、土地所有者と協議中である」と答弁。まだ、土地や施設の今後については未定であるとしています。

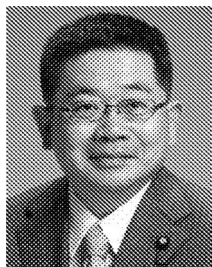
《10年6月の無料法律相談》

市役所6階 共産党控室 午後1時～3時

6月10日（木）

※予約が必要ですので、お申し込み下さい。

中野あきと事務所 TEL 042-599-3350



こんにちは
小池あきらです
東京から国政へ

日本共産党参議院議員

普天間基地は無条件撤去で

鳩山さんは日米合意と沖縄県民の思いの二つを考慮して判断すると言っている。しかし、この二つ踏まえたら判断なんかにできません。沖縄では衆院選で自公の議員はいなくなりました。名護市では市長選で（基地反対の）稲嶺さんが勝利している。沖縄県民の意思はもうハッキリしています。

よく「抑止力」と言います。でも、普天間にいるのは海兵隊なんです。これは日本を守る軍隊でもアメリカを守る軍隊でもない。真っ先に殴りこむ侵略のための軍隊です。米軍がいなくて日本が守れないと言いますが、中国や北朝鮮が侵略してくるのでしょうか。防衛省の防衛白書でも「いま、日本を組織的に侵略してくる国は無い」と言っているんです。

憲法9条の国として外交努力で平和を守るべきです。国を守るというなら軍事費は5兆円も確保しながら、一方で気象庁や海上保安庁の予算をさらに削るなどやるべきではない。

普天間は住民が収容されている間に奪った土地です。地代も払っていない。不法占拠です。だから引っ越し先は自分で見つけて出て行くべきなんです。フィリピンやエクアドルなどは米軍基地を撤去させました。この問題の根っこには日米安保がある。沖縄の人たちは、憲法9条がある本土に復帰すれば平和になると考えて闘ってきたんです。しかしその本土も、首都にすら米軍の基地がある。こんな国はありません。安保が無いと不安と言う人もいるでしょう。でもこれから、これでいいのかと皆で考えるべきではないでしょうか。

（3月14日「世直しボランティア大集合」発言から抜粋）